

令和2年度

高大連携事業のご案内



群馬医療福祉大学

社会福祉学部
看護学部
リハビリテーション学部

(社会福祉 福祉心理 学校教育 児童福祉 初等教育 看護 理学療法 作業療法)



群馬医療福祉大学短期大学部

医療福祉学科

(介護福祉 介護福祉士実践 福祉総合 医療事務・秘書)

* 群馬医療福祉大学 地域連携センター

[出前講座 (一般企業等への教員派遣)、高大連携事業窓口]

* 群馬医療福祉大学 入試広報課

[出前授業 (学校関係への教員派遣)、卒業学生派遣事業]

電話 : 027-253-0294(代表) FAX : 027-254-0294

令和2年度「高大連携授業」の実施形態等の変更について（お知らせ）

過日、高大連携協定締結校様には郵送にてご案内いたしました。新型コロナウイルス感染拡大が依然として懸念されるため、参加くださる生徒の皆様の健康・安心を最優先に考え、下記のとおり、「令和2年度 高大連携授業」の形態等を変更して実施させていただきます。

急な変更で、例年どおりの参加を予定していただいている生徒の皆様には誠に申し訳ありませんが、今般の事情を鑑み、ご理解くださいますようお願いいたします。

つきましては、すでに配付させていただいた「令和2年度 高大連携事業のご案内」の冊子のP2～P4が、後掲のとおり変更となりますので、変更内容をご確認の上、お申し込みくださいますようお願いいたします。

なお、「高大連携授業履修願」の様式には変更はありませんので、ホームページよりダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、期間内に郵送またはご持参ください。

記

1 実施形態の変更

対面での授業 → 「YouTube 配信（録画）」視聴による授業

（形態の変更に伴い、授業内容も一部変更になる場合があります）

各授業の修了試験（小テスト）も、Web上で解答し、送信していただく形態とします。

2 日程・会場の変更

①日程：8月3日～6日 → 配信期間：8月5日（水）～8月21日（金）までを予定
配信期間内に、参加生徒が、各自の都合の良い時間に視聴

②会場：配信期間内であれば、参加生徒が、自宅等、各自が都合の良い場所で視聴

* 諸事情で、視聴できる場所の確保が難しい場合は本学までご相談ください。

3 受付期間の変更

6月15日～7月17日 → 7月1日（水）～7月22日（水）必着

* 詳細につきましては、今後、本学 HP 上や説明会等でご案内するとともに、受講生徒本人にもお知らせいたします。

* また、諸般の事情でさらに予定を変更せざるを得ない可能性もありますので、その場合は改めてお知らせいたします。

群馬医療福祉大学・短期大学部

高大連携授業係

田村・秋山・時田和

027-253-0294（代） 027-251-0117（直通）

令和2年度 高大連携事業について

群馬医療福祉大学・短期大学部

1 目的

群馬医療福祉大学・短期大学部では高等学校との相互教育に関わる交流・連携を通じて、高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めると共に、大学の求める学生像及び教育内容への理解を深め、教育機能の連携を図ることを目的とします。

2 高大連携に関する3つの事業

- ① 高大連携授業（高校生を対象とし、本学にて授業を体験する）
- ② 出前授業（教員を派遣し、先生及び生徒を対象としての講座）
- ③ 学生・短期大学生の派遣（本学の教育内容や各分野の仕組み等を説明）

3 その他の事業

- ① 大学で実施する講座の受講（公開講座等）
- ② 大学の施設・設備等の見学の受け入れ及び使用
- ③ 大学が実施する授業（実習を含む）の参観
- ④ 教育及び研究活動について、教員相互間の情報交換及び交流
- ⑤ その他両者が協議し、同意した事業

4 問い合わせ

以上、これらに関する問い合わせにつきましては、下記まで電話にてお願い致します。

・群馬医療福祉大学 地域連携センター

電話：027-253-0294 （FAX：027-254-0294）

令和2年度 高大連携授業

1 受講希望の高校生の申し込み資格

- ① 在籍高等学校長の承認が得られる生徒
- ② 大学が受講を認めた生徒

2 授業の日程・内容等については、「講義科目」(p.3-4)を参照

3 申し込みについては「高大連携授業履修願」(p.6)に必要事項を記入、写真を貼付し、高等学校長印を得て提出。

4 提出方法は郵送または直接持参

郵送先 〒371-0823 群馬県前橋市川曲町191-1

群馬医療福祉大学高大連携授業係

持参 郵送先所在地に同じ(前橋キャンパス)

5 受付期間

令和2年7月1日(水)～7月22日(水) 必着

6 募集人数

140人

7 単位認定要件

- ① 全講義の2/3以上を受講すること
- ② 修了試験(小テスト=Web上で解答し、送信する形態)に合格すること

単位認定要件をともに満たした受講生には、群馬医療福祉大学・短期大学部の単位認定証明書を授与します。この単位は群馬医療福祉大学・短期大学部へ入学した場合には、群馬医療福祉大学の全学部・短期大学部の単位(2単位)として認定されます。

8 受講料

無料

9 入学試験検定料減免措置

本講座受講者が群馬医療福祉大学・短期大学部の入学試験を受験する場合、入学検定料を減免致します。

令和2年度 講義科目：医療・福祉・教育の基礎（2単位）

回	内容	担当教員
第1回	人間育成の基本「ボランティア学」 全講義に欠かすことの出来ない、人と人をつなぐ「支援」について基本的な考え方を学びます。	足立
第2回	－中学校社会科公民的分野、特別支援－ 模擬裁判という擬似体験を通じて、裁判官、検察官、弁護人の役を理解しながら、知的障害のある方の判例事例を取り上げ、障害のある方への支援・配慮について考える。	江原 森田
第3回	社会福祉士の専門性とコミュニケーション 社会福祉士として連携を取る時の情報共有の大切さ、人に伝える難しさを学ぼう。	富澤
第4回	心理学的視点を学ぼう！ 福祉・教育・看護・リハビリテーションの各領域に共通する対人援助に関する基礎的な心理学的視点を学びます。	植原
第5回	感染の伝播を防ぐ知識や技術を学ぶ 感染の成立と感染予防の3原則を知り、感染経路別予防策を学ぼう！	上田
第6回	在宅看護の役割を学ぼう！ 看護の工夫をしてみよう！ 在宅で療養する人とその家族が望む生活を支援する在宅看護の役割について学ぼう。	塚越
第7回	こころの健康－ストレスと対処方法－ 「こころもかぜをひく」って知ってた？現代社会はストレスがいっぱい。こころの働きを知って、ストレスと上手に付き合う方法を学ぼう。	八木
第8回	「地域の人々の健康を守るために」 私たちの健康がどのようなシステムで守られているのか学ぼう。	奥野
第9回	ひとの体と臨床における理学療法の役割① 理学療法の役割と人体のメカニズムについて実技を通して学ぶ。	浅野 小林
第10回	ひとの体と臨床における理学療法の役割② 理学療法の役割と人体のメカニズムについて実技を通して学ぶ。	浅野 小林
第11回	作業療法士からみる対象者の生活課題とリハビリテーション 変わりゆく社会の中で、障害者を取り巻く生活環境や課題は年々変化している。演習を通じて、リハビリテーションにおける作業療法の役割等について学ぶ。	高坂
第12回	臨床や地域社会における作業療法の実践 作業療法の概要を学んだ上で、作業療法が対象者や社会の抱える課題に対して具体的にどのような取り組みや実践を行っているのかを学ぶ。	牛込

回	内容	担当教員
第13回	地域包括システムってなに？ ～超高齢化社会に向けてみんなで支える 地域づくりの必要性を学んでみよう～	淡島
第14回	「児童虐待の今」 児童虐待の現状を知り、どうしたら子どもや親を救えるか、考えてみましょう。	真下
第15回	「先生の指導テクニックを学ぼう」 伝わる話し方・感じのいい聞き方は、人と接する仕事の基礎基本です。先輩ボランティアの模擬授業も取り入れ、指導方法について実践を通して学びます。	時田
第16回	「生活」を「支援」することとは何か ～生活のさまざまな要素が影響し合う事を考えよう～ からだやこころ、生活環境、個人の価値観など、様々な要素が複雑に絡み合っ て、人は生活をしている事を知り、「支援」することとは何かを考える。	清水久

令和元年度 各学部の授業風景



社会福祉学部（前橋キャンパス）
「支援するってどんなこと？」の講義



看護学部（藤岡キャンパス）
「高校生に看護職の魅力を伝える」の救命実技体験



リハビリテーション学部（本町キャンパス）
「『作業』って何だろう？」の講義

出前授業（高大連携）

進路目標の実現に努力している生徒の皆様に、福祉、心理、子ども、教育、介護看護、理学・作業療法に関する講義・内容・現状・将来展望・就職の状況についての講義を受講いただくことで、進路選択のお役に立てる事ができると考えております。

それぞれの学科・分野の専門の教職員が講義にあたりますので、必ずや皆様のご期待に添えるものと存じます。出前授業の内容や時間等につきましては、ご依頼のあった学校の計画に従って準備致しますので、遠慮なくご活用下さいますようご案内申し上げます。本学の出前授業に関する費用は全て無料で実施致します。

学生の派遣

高校生を対象とした職業理解、進路研究等の機会を提供することを主たる目的として、高等学校（母校）からの求めに応じて本学へ入学した学生を派遣し、大学の教育内容や進路講演等を行う事業です。必要に応じて入試説明や懇談なども可能です。

卒業生との交流を通じて進学意識の向上、福祉・医療分野を学ぶ仕組み、更には「群馬医療福祉大学・短期大学部」を知る機会を提供いたします。

学生派遣の内容や時間等につきましてはご依頼のあった学校の計画に従って準備いたしますが、学生の授業や実習期間等の関係もありますので、ご希望に添えない場合もあることをご了承ください。

なお、学生派遣事業に関する費用は、全て無料で実施いたします。



授業開始にあたり鈴木学長のあいさつ

令和元年度 台風19号による被災地でのボランティア活動

令和元年11月2日（土）佐野市（本学独自で）38名参加

令和元年11月9日（土）いわき市（前橋市社会福祉協議会によるもの）10名参加



佐野市での活動風景



いわき市での活動風景

高大連携授業履修願

群馬医療福祉大学長 様

学 校 名 _____

学 校 長 名 _____ (印)

学校所在地 〒 _____

写真貼付
縦4cm×横3cm

フリガナ 氏 名	_____ (印)	生年月日
		平成 年 月 日生
現住所	〒 _____	電話 ()
		携帯 - -
最も興味のあるものに1つ○を付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士 () ・社会福祉士 () ・看護師 () ・保健師 () ・理学療法士 () ・作業療法士 () ・精神保健福祉士 () ・保健師 () ・その他 () ・保育士 () ・幼稚園教諭 () ・小学校教諭 () ・中・高校教諭 () ・特別支援学校教諭 () ・医療秘書 () ・臨床検査技師 () ・臨床工学士 () 	
履修を希望する理由： _____ _____ _____ _____ _____		

群馬医療福祉大学・短期大学部 学生派遣申込書

年 月 日

高等学校名			学科・コース等名		
所在地	〒				
対象人数	生徒	人 (学年)	教員・その他	人 (内訳)	
希望日時 ※1	第一希望	年 月 日			
	第二希望	年 月 日			
希望する 派遣学生 ○を記入 ※2	希望学科・専攻	希望学生 1	希望学生 2	希望学生 3	
	社会福祉専攻				
	子ども専攻				
	医療福祉学科				
	看護学科				
	理学療法専攻				
	作業療法専攻				
希望する 実施内容	内 容 希望する内容に ○を付ける	大学概要 説明	入試説明	懇談会	
		その他			
	※希望される実施内容について、具体的に記入してください。なお、ご希望のとおりには実施できない場合もあります。				
予定スケ ジュール	※当日の予定スケジュール（集合時間・講演時間・回数・終了時間など）を具体的に記入してください。別添で提出いただいても構いません。				
ご担当者連絡先 ※必ずすべて記入してください。					
《ご氏名》					
《電話・FAX 番号》					
《E-mail》					

※1 希望日時は学生の授業、実習期間中などの理由により希望に添えない場合があることをご了承ください。

※2 卒業生氏名がわからない場合は本学で人選して派遣をすることも可能です。